

第21回政府現地対策本部会議・第24回熊本県災害対策本部会議 議事録

日時 平成28年4月30日(土) 16:20～

場所 県庁新館8階 職員研修室

1 被害の状況

○地震の状況

別添資料のとおり、気象台から説明。

○被害の状況等

人的被害について、死者・行方不明者は前回と変更なし

重症者・軽傷者は分類未確定を含め1,555名

住家被害状況について、まだ現在調査中であるが全壊・半壊・一部破損合計38,292棟。

避難状況について、27市町村で避難所423カ所、避難者数は25,894名。(前日比約4,700人減となっている。)

避難指示等の発令状況について、避難指示6市町、避難勧告9市町村で発令中。

2 県等の対応状況

(総務部)

被災市町村への人的支援を継続中。他県や全国知事会からの応援もあり罹災証明の交付について、全国知事会及び関西広域連合と県内の国家公務員の方々からの人的な支援のもと、家屋被害の認定調査に着手。資料中では5月10日と、申請書の受付が遅いように思われるかもしれないが、調査は先行していたので、被害者の方々が罹災証明書を受け取るのは想像しているよりも早いと思われる。

(企画振興部)

航空機関連は、阿蘇くまもと空港は本日60便運航予定。

豊肥本線の代行輸送については、県とJRとで実施に向けて協議中。

(健康福祉部)

仮設住宅への対応状況について、昨日4/30現在で熊本市と菊陽町で要望があるというだけで、建設要望は全体で15市町村となっている。

ボランティア活動の状況について、全国災害ボランティア支援団体ネットワーク及び県内NPO団体との連携会議を開催し、情報共有を行っている。

高齢者、障がい者等への宿泊施設の提供について、本日13時現在で67組143人へ提供を行っている。

応急仮設住宅については資料を参照のこと。

(環境生活部)

水道について、大津菊陽水道企業団の80戸ほどで断水が復旧、御船町・益城町も徐々に復旧しつつある。阿蘇市については、本日、仮設管を設置次第、通水試験を開始するが、細かな漏水箇所も出てくると思われるため、それらを広域調整により管工事業者に補修してもらう態勢を整えており、早ければ一週間程度で復旧見込み。熊本市は、

徳王地区の夜間の計画断水が本日朝に終了し、城南地区の一部が断水中。ただ、マンション等では上層階に給水がいかないところもあろうかと思っている。

廃棄物の処理状況について、災害廃棄物の処分は、ごみステーション・仮置き場に対応。県下には53箇所の仮置き場ができています。益城町の仮置き場に持ち込まれる災害がれきの量が多いことから、選別を行い別途空港近くの県有地へ2次仮置き場を準備している。熊本市の災害ごみの収集状況について、昨日が2,919トンということで、自衛隊に災害がれきの除去に応援をいただいている。

(商工観光労働部)

特に報告事項無し。

(農林水産部)

特に報告事項無し。

(土木部)

応急危険度判定がほぼ最終段階に来ており、本日、南阿蘇村と阿蘇市が終了予定で、これが終わると1次調査まで完了したことになる。

(県警本部)

立野地区の捜索活動については本日朝から引き続き重機により行われている。午後から警察犬を導入して捜索活動を実施。これまでのところ発見には至っていない。

また、九州自動車道の全面開通に伴う交通渋滞の緩和対策を実施中。

(教育庁)

数字の変更程度であり、特に説明は省略する。

### 3 国等の対応状況

(内閣府)

「ボランティアの力を最大限に活用した被災者支援」について、今後県と一体となり各市町村単位で避難所改善支援チームを立ち上げる。そのチームにより今後は避難所毎に課題を集めてきて、いろいろな面で助言等を行い、課題の解決に取り組んでいきたいと考えている。ボランティアには専門のNPOが参加しており、今後の展開として避難所アセスメントを行う。

(消防庁)

南阿蘇村の活動を引き続き継続中。

(自衛隊)

昨日同様の活動を行っている。

(海上保安庁)

引き続き港において、生活支援を実施している。

(気象庁)

震度1以上の回数を資料により説明。地震発生当初と比較すると、地震発生頻度は下がっているが、増減を繰り返しながら推移している。地震活動は活発な状態が続いている。昨日は大分県で震度5強の大きな揺れがおきており、引き続き強い揺れに注意していただきたい。

天気は、今夜から明日にかけて晴れの見込み。なお、1日の寒暖の差が大きいこと

から体調管理に注意していただきたい。

(西部ガス)

被害を受けた熊本地区の供給エリアにおける復旧に全力をあげるため、全国のガス事業者の支援を頂きながら、復旧作業を進めてきた。その結果、本日、供給停止していた約 10 万戸に対し、家屋倒壊やご都合により供給できない世帯を除く全ての世帯でガスの供給ができるようになった。

なお、顧客のご都合により供給が停止している箇所については、引き続き供給再開を進めていく。

多くのご協力により当初の予定よりも早期に復旧ができた。

#### 4 現地災害対策本部長の発言

(酒井政務官)

2 週間過ぎてお疲れだと思うが、引き続き頑張ってください。

午前中に嘉島町に行って、見て回った。帰りに益城町を通ってきたが、非常に渋滞していて、ボランティア等たくさんの方々がいるという感じがした。多分、ボランティアの方々はいろんな所にお泊りになったり野宿されたりしていると思うが、衛生面には十分注意していただきたい。

このゴールデンウィークに入って観光、食物の関係で桜庭さん（農林水産省）の方で風評被害のようなものがないかお答えできないか。

(農林水産省 桜庭局長)

農林水産省の桜庭です。

県、JA や卸売市場等との意見交換を行っているが、熊本県の農産物に対する風評被害は一切ない。むしろ、どんどん取引したいという方々がいらっしやるくらいである。

野菜については集出荷施設が復旧していない部分があり、人出不足の問題もある。農業生産サイド、流通サイドへの支援をしっかりとやっていかなければならない。皆さん暖かい声で、むしろ、応援したいという声が多い。

(酒井政務官)

全国から応援を頂いているということで、私たちも支援をいただくよう頑張りたい。

政府の朝の会議で、1 時間に渡って話をした。今までは刻々状況が変わる中で、いい意味での悪い情報が入ってきて、それを何とかしようという状況だったが、今ここにきて、いい状況が刻々と変わりながら、前向きな議論をしていくという状況に変わってきた。大変だが、この状況を維持していく努力をしなければならないと思う。

官邸での被災対策本部で、総理の発言の中に「それぞれの持ち場で出来ることは全てやる、の精神で、平常時の対応にとらわれてはなりません。機動的かつ柔軟な対応に心がけていただきたいと思います。」というのがあった。色々な制約や法律上の問題があるかと思いますが、被災者のために克服し、総理が言われるように、柔軟にしっかりと対応していくよう頑張っていきたいと思います。

#### 5 県災害対策本部長の発言

(蒲島知事)

今日も、所在がわからない1名の方の捜索を続けている。一刻も早い救助を心から願っている。

また、いまだに余震は収まる気配が見られない。引き続き警戒いただくようお願いしたい。

本日、避難者数が3万人を切った。ライフラインの復旧や、建物の応急危険度判定の結果を受け、自宅などへ戻られた方が増えたためと思われる。

避難所に残られている方々についても、一日も早く、安心できる「すまい」で暮らしていただけるよう、迅速に対応して参りたい。

現在、ふるさと納税や義援金など、全国の皆さまから、たくさんの温かい御支援をいただいている。心から感謝申し上げます。

一方で、自宅の修理など災害に便乗した悪質商法や、義援金詐欺など、被災者の皆さんに御注意いただきたい情報が県に寄せられている。

困っている方々の弱みにつけ込む、許し難い行為。警察をはじめとする関係機関で警戒を強めるとともに、住民の方々もお互いに声をかけ合うなどの自衛措置をお願いしたい。

昨日は、ケネディ駐日米国大使が、お見舞いのため熊本を訪問された。そして本日は、自民党の谷垣幹事長が熊本においでになった。連日多くの方々が、熊本のことを気にかけて、足を運んでいただき、改めて感謝申し上げます。

今日、この後、石井国土交通大臣と意見交換を行う。熊本の「創造的な復興」に向けた県の思いをしっかりとお伝えしたいと思う。

引き続き「チームくまもと」として一緒に頑張っていきたいと思うので、皆様方の御協力をよろしくお願いしたい。

(以 上)